

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●江田照男騎手と大野拓弥騎手が節目の騎乗を達成

7月18日(土)の2回福島7日・第6レースでテンオンスゴールドに騎乗した江田照男騎手(美浦・フリー)は、史上9人目・現役5人目となるJRA通算1万9000回騎乗を達成しました。また第8レースでブライティアブークに騎乗した大野拓弥騎手(美浦・フリー)は、史上24人目・現役14人目となるJRA通算1万4000回騎乗を達成しました。

●各地で開催リーディングジョッキー決定

7月19日(日)に2回福島競馬、2回小倉競馬、1回函館競馬が終了し、福島では坂井瑠星騎手(栗東・矢作芳人厩舎)、小倉では松山弘平騎手(栗東・フリー)、函館では丹内祐次騎手(美浦・フリー)が、いずれも16勝をあげて開催リーディングジョッキーに輝きました。

●古賀大生厩舎が新規開業

萩原清調教師の逝去による大竹正博調教師への臨時貸付期間が満了したことに伴い、7月21日(火)、古賀大生調教師(美浦)が新規開業しました。14馬房でのスタートとなります。

●ロンジンワールドベストレースホースランキング発表

国際競馬統括機関連盟(IFHA)から恒例の「ロンジンワールドベストレースホースランキング」が発表され(2026年1月1日から7月5日までに実施された世界の主要レースが対象/単位はポンド)、チェアマンズスプリントプライズを圧勝したカーインライジングとプリンスオブウェールズS楽勝のオンブズマンがトップタイ(131)となりました。日本調教馬は4頭が掲載され、フォーエバーヤングとメイショウタバルが第12位タイ(123)、クロワデュノールとマスカレードボールが第15位タイ(122)となっています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●マーキュリーC(盛岡)でサンデーファンデーが3度目の重賞制覇

マーキュリーC(JpnⅢ、7月20日、盛岡、2,000万円)は、外枠から先手を取った5番人気のサンデーファンデー(角田大和騎手、牡6歳、父スズカコーズウェイ)が、単勝1.9倍で1番人気のムルソーに1馬身1/4差を付けて逃げ切り、プロキオンS、マーチSに次ぐ3度目の重賞勝ち。3番人気のギョルヴィが6馬身遅れの3着、2番人気のテストイモネは4着、メイショウフンジンは11着でした。

●レジェンドパローズがやまびこ賞を圧勝【各地の主要3歳重賞】

やまびこ賞(7月12日、盛岡、1,800万円)は、逃げた東北優駿の覇者レジェンドパローズ(牡、父コパノリッキー)が後続を9馬身引き離し、単勝1.1倍の圧倒的支持に応えました。星雲賞(7月9日、門別、1,200万円)は、先手を奪った2番人気のトリップス(牝、父ゴルトマイスター)が、単勝1.7倍で断然人気のスペシャルチャンスの追撃を3/4馬身抑えて3度目の重賞制覇。佐賀ユースCから改称された佐賀ユーススプリント(7月5日、佐賀、1,400万円)は、2番手から3コーナーで逃げ馬を交わした3番人気の飛燕賞馬ハクアイドゥマン(牝、父アメリカンペイトリオット)がそのまま押し切って優勝。ぎふ清流C(7月9日、笠松、1,400万円)は、3番手を進んだ6番人気の兵庫からの遠征馬ベラジオソニック(牡、父ロゴタイプ)が直線に入って間もなく抜け出し、兵庫ユースCに次ぐ2つ目の重賞タイトルを獲得しています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●香港年度代表馬はカーインライジングとロマンチックウォリアー

香港競馬の2025/26年シーズンが現地7月15日に終了。それに先立つ7月10日には香港競馬の年度代表表彰であるチャンピオン賞が発表され、年度代表馬にはカーインライジング(騾5歳、父シャムエクスプレス、D.ヘイズ厩舎)とロマンチックウォリアー(騾8歳、父アクラメーション、C.シャム厩舎)が輝きました。複数頭の同時受賞は史上初のことです。カーインライジングは香港スプリント(芝1,200万円)やオーストラリアのジ・エベレスト(芝1,200万円)など5つのG1を含むシーズン8戦8勝で昨シーズンに続く2度目の受賞。ロマンチックウォリアーは香港カップ(芝2,000万円)、それにスチュワーズC(芝1,600万円)、香港ゴールドC(芝2,000万円)、チャンピオンズ&チャターC(芝2,400万円)で構成される香港三冠など5つのG1を含むシーズン6戦6勝で2023/24年以来2度目の受賞となりました。

●G1愛オークス～ヨハンナウォルシュが快勝

7月18日にアイルランドのカラ競馬場で行われたG1愛オークス(3歳牝、芝2,400万円)はD.マクモナグル騎手が騎乗したヨハンナウォルシュ(牝3歳、父シーザスターズ、J.オブライエン厩舎)が中団追走から直線へ抜け出して4馬身差で快勝しました。ヨハンナウォルシュは今年5月にデビュー3戦目(芝2,000万円)で初勝利。続く前走6月のG2リブルスデールSは今回6着に下したアースショットからアタマ差の2着でした。